

# 新潟水俣病の 歴史を振り返り 未来を考える

～学校教育と地域社会における次世代への伝承～

**参加無料**

事前申込制  
(定員400名)

平成27年 **1月24日(土)**

13:30～15:30

新潟ユニゾンプラザ多目的ホール  
(新潟市中央区上所2丁目2番2号)

新潟水俣病公式確認からまもなく50年。今なお、被害に苦しむ方々がいます。被害者が高齢化する中、新潟水俣病の歴史と教訓をどのように伝えていくのか。新潟水俣病の歴史を映像で辿るとともに、学校教育や地域社会のなかで次世代を担う子供たちにどのような「学び」を手渡していけるのかを考えるパネルトークを行います。今、改めて新潟水俣病について振り返り、私たちに何ができるかを考えてみませんか。



関 礼子

立教大学社会学部教授  
／コーディネーター



小武 節子

語り部／パネリスト



竹下 景子

俳優／パネリスト



寺田 喜男

元上越教育大学教職員  
大学院特任教授  
／パネリスト



塚田 眞弘

県立環境と人間のふれあい館館長  
／解説・パネリスト

お問い合わせ・お申込み先

参加ご希望の方は、電話・FAX又はメールでお申込み(氏名・住所・電話番号・参加人数)ください。

新潟県福祉保健部生活衛生課公害保健係

TEL: 025-280-5207 FAX: 025-284-6757 E-mail: ngt040250@pref.niigata.lg.jp

詳しくは裏面へ>>>

主催: 新潟県

後援: 新潟県教育委員会、新潟市、新潟市教育委員会、五泉市、五泉市教育委員会、阿賀野市、阿賀野市教育委員会、阿賀町、阿賀町教育委員会

# 新潟水俣病の歴史を振り返り、未来を考える ～学校教育と地域社会における次世代への伝承～

## プログラム

- 13:30～（受付12:45～）  
主催者あいさつ
- 13:35～  
映像で見る新潟水俣病  
『新潟水俣病の歴史を振り返る』  
（県立環境と人間のふれあい館館長 塚田真弘）
- 14:00～  
パネルトーク  
『新潟水俣病の歴史と教訓を次世代へ』  
（コーディネーター：関礼子）  
（パネリスト：小武節子、竹下景子、寺田喜男、塚田真弘）

## お申込み・お問合せ

- 電話、FAX又はメールでお申込み（氏名・住所・電話番号・参加人数）ください。
- 先着順により、定員（400名）になり次第締め切らせていただきます。
- ご参加いただける方には、1週間前に入場券（ハガキ）をお送りします。
- FAX又は電子メールをご利用の場合は、件名を「フォーラム申込」としてください。

### 【お申込み・お問合せ先】

新潟県福祉保健部生活衛生課公害保健係  
〒950-8570 新潟市中央区新光町4-1  
TEL：025-280-5207  
FAX：025-284-6757  
E-mail：ngt040250@pref.niigata.lg.jp

## パネリスト等紹介

**関 礼子**（立教大学社会学部教授）  
開発と自然保護、新潟水俣病問題等に関心をもち、公害など環境問題の「負の歴史」の「いま」について研究。2007年新潟水俣病問題に係る懇談会委員、2009年から新潟水俣病施策推進審議会委員を務める。

**小武 節子**（新潟水俣病語り部）  
新潟水俣病第二次訴訟原告。2001年から環境と人間のふれあい館の語り部となる。2010年から新潟水俣病被害者の会会長を務める。

**竹下 景子**（俳優）  
1973年NHK「波の塔」でデビュー。熊本放送制作のドキュメンタリー番組「記者たちの水俣病」でナレーションを担当するなど、水俣病に関わる。

**寺田 喜男**  
（元上越教育大学教職員大学院特任教授）  
小学校長退職後、2007年新潟水俣病問題に係る懇談会委員、2008年から新潟水俣病教師用指導資料作成委員会委員長。

**塚田 真弘**  
（県立環境と人間のふれあい館館長）  
1966年新潟県入庁。保健所、食肉衛生検査所などの勤務を経て、2003年生活衛生課長を退職後、同館の館長に就任。

## 交通案内

### 新潟ユニゾンプラザ

（新潟市中央区上所2丁目2番2号）

- 自家用車でお越しの場合  
新潟中央I.Cから約10分
- JR新潟駅からお越しの場合  
①新潟駅万代口バスターミナルのりば（12番）から路線バスで約10分  
ユニゾンプラザ前で下車  
・水島町経由美咲合同庁舎行  
・県庁前経由西部営業所行  
・県庁前経由曾野木ニュータウン・嘉木・酒屋車庫・小須戸行  
②新潟駅万代口からタクシーで約8分

